



生活文化



環境自然

86  
まいん

そっこうじょあと

# プール・測候所跡



現在のプールの様子

最初は、「こんな所にプールは作らないで、海に行った方が良い」という反対する声もありましたが、その後、防火用水を兼ねているということで、皆さん納得するようになりました。

今でも、防火用水としての役割を担っています。



プール開設式

昭和48年撮影 別子銅山記念館所蔵

特に、風の向きや強さは、煙害に深く関係することから、毎時間観測していました。

その後、昭和14年に煙害問題が解決し、役割を果たした測候所は昭和23年に役目を終えます。

そして、25年後この場所にプールが開設されました。

ところで、測候所が設置される前、天候の良い夜にこの山頂を見ると、夜空に無数の星の輝きが見えたことから『星が峰』と呼ばれていました。

しかし、測候所が設置されると、測候所が地名を兼ね、星が峰の地名は消えてしまいました。

時間は流れ、現在は昔のように静かに星の輝きが見える場所に戻っています。

## プール

は、瀬戸内海を見下ろす美濃島の山頂付近に昭和48年(1973)10月宮窪町によって開設されました。

しかし、昭和51年の四阪島製錬所操業終結にともない、わずか3~4年しか使用されませんでした。

静かな時の流れと共に  
甦った「星が峰」  
よみがえ



初泳ぎを楽しむ子供たち

昭和48年撮影 別子銅山記念館所蔵

## そっこうじょ 測候所

は、明治36年(1903)四阪島製錬所移転にともない設置されました。

様々な観測装置が備えられ、1日6回気象観測を行っていました。



測候所 撮影年不詳 別子銅山記念館所蔵

